事例No.	2715
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	松場登美

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・観光

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

松場登美

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

最優秀賞

松場　登美　　島根県大田市

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　定住促進　観光振興・交流　まちなか再生　コミュニティ

概　　要

夫の故郷である大田市大森町にＩターンした昭和５６年から石見銀山の歴史や豊かな自然、そこに共生する人々の暮らしに魅了され、布小物の製造販売の傍ら古民家の修復を手掛け、平成６年に服飾ブランド「群言堂」を設立。日本の技や産地を守る為に、国内の素材や国内生産にこだわり、暮らしに根ざしたものづくりの良さを全国に発信。その４年後には株式会社石見銀山生活文化研究所を設立。過去から本質を理解し、未来からの視点で創造する考え方を松場夫妻は「復古創新」と表現し、他と一線を画すその衣食住のスタイルに共感した若者が全国から移住したことから、大森町の人口は社会増加し、地域に根付くことで自然増加につながっている。



【松場　登美　氏】

評価された点

・ライフスタイルブランド「群言堂」から古民家を再生した宿「他郷阿部家」へとつながる石見銀山における一連の活動。昭和63年以来の長期にわたる活動。
・地域の風土や文化をまもる暮らしを服飾ブランドの創設を通じて発信していること、また地域の歴史や文化、暮らしに共感する人々を受け入れる環境を構築している点は高く評価できる。
・石見銀山は世界遺産に認定されたときこそ多くの観光客が訪れたが、それが持続していない面がある。世界遺産というだけで来訪者を持続的に呼び込むことは容易ではないが、世界遺産に認定される本質的な地域の価値をベースにビジネスとして持続可能なカタチで魅力的なライフスタイルを発信し続けている点が素晴らしい。
・地域の文化資源を蘇生・ブランディングに 成功している点が素晴らしい。
・事業展開をする際の拠点を地方に置きながら、古いものを古いまま使うのではなく、現代の視点、未来の着眼点を持ち、多くの人を魅了する商品を創ることで、経営を成り立たせている。一企業ではあるが、ふるさとの風景や人材を創ることに多大な功績を与えていると評価。
・【先進性】「復古創新」という考えとともに暮らしに根差した独自の衣食住提案。【継続性】昭和63年から継続。【発展性】大森町の「美しい循環」のある暮らしを次世代へつなげている。【自主性】「群言堂」自主ブランド。【連携】国連機関はじめ国内外の多種多様な交流。【効果】共感した若者が移住し定住へつながっている。
・「復古創新」など、コンセプトを大事にした持続性のある地域づくりになっている。また、若者がその考え方に引かれて移住してくるなど、他地域にあまり見られない取り組みとなっている。その原点は「ありのまま」の生活をデザインを通じて「ハイセンス」に表現していることにあると考える。